

JR東海労なごや

2018年7月13日 No.1105

JR東海労名古屋地方本部

発行者：荻野隆一

編集者：教宣部

JR東海労名古屋地本申1号提出！

第28回地本大会の発言にもとづく改善要求

会社は早急に団交もしくは業務委員会を！

6月24日に行われたJR東海労名古屋地本定期大会において、組合員から数多くの職場の諸問題解決への発言がありました。地本は問題解決に向けJR東海会社に「JR東海労名古屋地方本部申1号」（7月10日）を提出し、早急に団体交渉もしくは、業務委員会を開催する事を申し入れました。

主な職場の改善要求

改善を求める要求は、29項目にまとめ提出しました。主な要求内容です。

①松阪駅汽笛亭廃止に伴う出向に当たっての諸問題②昇格、昇進に関する問題③組合掲示に対する不当な干渉④年休完全消化にむけて⑤駅社員の新入社員教育についてまた技術継承に向けて⑥高齢者の労働条件について⑦不当なボーナスカットの要因を引き出す個別な添乗及び私服添乗の問題・安全について⑧健康診断受検について⑨ワンマン列車に関する問題・睡眠時無呼吸症候の問題、その他職場環境改善について多岐に渡る問題を会社に提出し交渉のテーブルにつくよう強く要求しました。

職場では問題点が山積

現場では本当に多くの問題が山積しています。会社は今現場で何が起きているのか、社員にとって本当に働きやすい職場とはなんなのか考えるべきです。私たちの声を聞く事により職場の問題が解決されるのです。

このような声に、これまで通り「問題はない」とか「そのような考えはない」などの回答では社員の不満は積もるばかりです。

職場の問題は山積している！

働きやすい環境は安全運行に

欠かせない！！